

試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：おでん用ダイコンの作型別適品種の解明			
<p>[要約] おでん用ダイコンの秋どり露地栽培では「SC1-126」、「福誉」、「福天下」、冬どり露地栽培では「冬人88」、早春どりマルチ厳寒期トンネル栽培では「初誉」、春どりトンネル栽培では「春風太」、「濱のはる」、「夢誉」を播種期により使い分ける。</p>			
キーワード ダイコン、加工、業務、おでん、品種			
実施機関名	主 査 農林総合研究センター・北総園芸研究室・東総野菜研究室 協力機関 JA全農ちば、信田缶詰（株）		
実施期間	2007年度～2008年度		

[目的及び背景]

近年、加工・業務用野菜の需要増加は著しく、ダイコンでは出荷量の58%が加工・業務仕向けと推定され、なかでもおでん用ダイコンの需要が増大している。そこで、おでん加工用ダイコンの作型別適品種を栽培特性及びおでん加工特性から明らかにする。

[成果内容]

- 1 おでん用ダイコンでは家計消費に比べ、大型のものが求められ、直径6cm程度の製品を円筒状に打ち抜き、厚さ3.0cmの輪切りにして利用するため、直径7.5cm以上の部位が長いほど良く、出荷形態や規格は、実需者の定める単一規格となる（表1）。
- 2 秋まき露地栽培での8月中旬まき～10月下旬～11月上旬収穫には「SC1-126」（サカタのタネ）、8月下旬まき～11月上旬収穫には「福誉」、9月上旬まき～11月中旬収穫には「福天下」が適する（表2）。
- 3 冬どり露地栽培での9月下旬まき～1月中旬～2月収穫には「冬人88」（ナント種苗）が適する（表3）。
- 4 早春どりマルチ厳寒期トンネル栽培での10月上旬まき～3月中下旬収穫には「初誉」（みかど協和）が適する（表4）。
- 5 春どりトンネル栽培での11月中旬まき～3月下旬～4月中旬収穫には「春風太」、12月上旬まき～4月中下旬収穫には「濱のはる」、1月中旬まき～5月上旬収穫及び2月中旬まき～5月下旬収穫には「夢誉」（みかど協和）が適する（表5）。
- 6 各品種の特性が発揮される時期に播種し、必要に応じてべたがけやトンネル資材を利用する（図1）。

[留意事項]

- 1 施肥量は、主要農作物等施肥基準（千葉県、2009）に準じ、10a当たりの窒素成分で8月まき3kg、9月上旬まき6kg、9月下旬～2月まき8kg、3月～4月まき6

kgとする。土壌pHを6.0前後に調製する。

2 おでん用ダイコンの出荷は契約取引を基本とするため、栽培開始前に販売先と協議し、価格や出荷形態、数量等を明確にしておく。

3 遅まきをすると「SC1-126」は短根、「福誉」は肥大不足、「初誉」は胴くびれになる。生育初期（間引き前まで）の保温が不足すると「夢誉」は抽だいが問題となる。

[普及対象地域] 県下全域のダイコン生産者

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

表1 ダイコンの用途別特性

用途	業務用（おでん用）	家計消費用
求められる品質・規格	太さ7.5cm、長さ40cm以上のもの おでん加工後にエグ味が少なく食味や食感の良いもの	太さ7cm、長さ30～35cmの2L、L規格のもの 新鮮で食味の良いもの
出荷形態	葉を付けない ダンボール、通いコンテナ	葉を15cm程度で切り揃える ダンボール出荷
出荷規格	実需者の定める1規格	3L、2L、L、M、S、Bの6規格

表2 秋どり露地栽培におけるダイコンの栽培特性、おでん加工適性

播種期	品 種	肥大性	伸長性	形 状	その他	栽培特性	おでん加工特性		加工適性	総合評価
							おいしさ	その他		
8月 中旬	SC1-126	良	良	総太り	曲がり無～微	◎	良		◎	◎
	T-479	良	やや良	やや尻流れ	横縞症多	○	やや不良	苦味	○	
	福 誉	やや良	良	総太り	曲がり少	○	やや良			○
8月 下旬	SC1-126	良	やや不良	総太り	やや短根	○	やや良	酸味	△	△
	02-4253	良	良	総太り		◎	良	食感良	△	○
	福 誉	やや良	良	総太り		◎	やや良	味良	○	◎
9月 上旬	02-4253	良	良	総太り	曲がり無～微	◎	やや良	クセ有、酸味		△
	福天下	良	良	総太り	曲がり少	○	良	軟、酸味	○	◎
	福 誉	やや良	良	総太り	曲がり無～微	○	良	弱酸味	○	○
9月 中旬	冬人88	良	良	尻流れ	草勢やや強	◎	やや良	軟、エグ味	△	△
	福天下	良	良	総太り	草勢中	○	良	味良	○	○
	福 誉	中	中	総太り	草勢やや弱		やや良	苦味	△	

表3 冬どり露地栽培におけるダイコンの栽培特性、おでん加工適性

品 種	肥大性	伸長性	形 状	内部の緑化	その他	栽培特性	おでん加工特性		加工適性	総合評価
							おいしさ	その他		
冬美人	やや良	良	総太り	中	葉の耐寒性强		やや良	軟、エグ味有	△	
冬人88	良	良	総太り	無～微	葉の耐寒性中	◎	中	軟、甘味	○	◎
MK-R128	良	良	総太り	少	葉の耐寒性中	○	良	軟、すっきり	△	○
MK-R133	良	良	総太り	少	葉の耐寒性中	○	やや良	軟、酸味	○	○

表4 早春どりマルチ厳寒期トンネル栽培におけるダイコンの栽培特性、おでん加工適性

品 種	肥大性	伸長性	形 状	内部の緑化	その他	栽培特性	おでん加工特性		加工適性	総合評価
							おいしさ	その他		
濱のはる	やや不良	良	尻流れ	中	葉の耐寒性强	△	やや良	クセがない	○	△
春 慶	やや不良	良	尻流れ	中	葉の耐寒性强	△	良	美味、甘味	○	△
初 誉	良	良	総太り	中	葉の耐寒性强	◎	やや良	エグ味、筋	△	○
春風太	やや不良	良	尻流れ	中	葉の耐寒性强	△	やや良	クセがない	○	△

表5 春どりトンネル栽培におけるダイコンの栽培特性、おでん加工適性

播種期	品 種	肥大性	伸長性	形 状	内部の緑化	その他	栽培特性	おでん加工特性		加工適性	総合評価
								おいしさ	その他		
11月 中旬	濱のはる	良	良	尻流れ	中	耐寒性强	○	やや良	軟、甘味有	△	○
	春いずみ	良	良	尻流れ	やや淡	耐寒性强	○	やや良	軟、甘味有	△	○
	春慶	良	中	やや尻流れ	やや濃	耐寒性强	○	やや良	軟、酸味有	△	○
	初誉	良	良	総太り	中	胴くびれ	△	やや良	軟、すっきり	△	△
	春風太	良	中	やや尻流れ	中	耐寒性强	◎	やや良	軟、酸味有	△	◎
12月 月上旬	濱のはる	やや良	良	尻流れ	やや淡	耐寒性强	◎	良	ダシが美味	◎	◎
	春いずみ	やや良	良	尻流れ	無	耐寒性强	○	良	少し軟	◎	◎
	YR春人	良	やや良	ややつまり	やや淡	耐寒性强	○	やや良	酸味有、クセ	○	○
	春太鼓	良	やや良	ややつまり	無	耐寒性强	○	やや良	特徴無	○	○
1月 中旬	春いずみ	良	良	尻流れ	微	曲がり有	○	やや良	美味、やや軟	○	○
	YR春人	良	良	尻流れ	微	肥大不良	○	良	エグ味有	○	○
	貴誉	良	中	やや尻流れ	微	裂根発生	○	良	酸味有	○	○
	夢誉	良	良	総太り	微	す入り無	◎	良	美味	◎	◎
2月 中旬	福誉	やや良	良	総太り	やや淡	す入り多	○	良	美味、甘味	◎	◎
	貴誉	やや良	良	やや尻流れ	やや淡	す入り多	○	やや良	食感良、酸味	○	○
	夢誉	良	良	総太り	やや淡	す入り少	○	良	美味、筋有	○	◎
	RA256	良	良	やや尻流れ	やや淡	す入り無	◎	やや良	美味、エグ味	○	○

有望品種	8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		4月		5月		備考
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	
SC1-126 (サカタのタネ)	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	露地栽培
福誉 (みかど協和)	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	露地栽培
福天下 (みかど協和)	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	露地栽培 露地密植栽培
冬人88 (ナント種苗)	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	露地栽培 露地密植厳寒期 べたがけ栽培
初誉 (みかど協和)	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	マルチ厳寒期 トンネル栽培
春風太 (雪印種苗)	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	トンネル栽培
濱のはる (サカタのタネ)	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	トンネル栽培
夢誉 (みかど協和)	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	トンネル栽培

図1 おでん用ダイコンの作型と有望品種

凡例：○：播種 □：収穫 —：トンネル期間：べたがけ期間

[発表及び関連文献]

- 1 平成21年度試験研究成果発表会（野菜部門1）
- 2 平成21年度試験研究成果普及情報「おでん用ダイコンの省力・低コスト栽培」
- 3 平成21年度公開講座「加工・業務用野菜の最前線」
- 4 千葉県農林水産技術会議技術指導資料「加工・業務用野菜生産に取り組むための手引き」

[その他]

戦略プロジェクト「輸入野菜のシェアを奪還し、千産千消・千産全消を支援する業務用野菜の開発」（平成19～20年度）